

Tel:841-6900 E-mail: hanazono-s@edu.city.kyoto.jp

令和3年度 前期学校評価報告

花園小学校では、保護者の皆様にご協力いただき、「子ども達の生活をよりよいものにするための自己評価」の調査を行います。今年度前期の調査は7月に実施いたしました。保護者の皆様の自己評価調査は98.1%という高い回収率となりました。ご協力ありがとうございました。

学校教育目標に照らし合わせ、アンケートの内容を「生活に関すること」「学習に関すること」の2つの視点で調査をしました。今年度より「児童」「保護者」「教職員」それぞれの立場での自己評価という形でアンケートを行いました。

その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていく視点で分析・考察をしたのでご報告いたします。

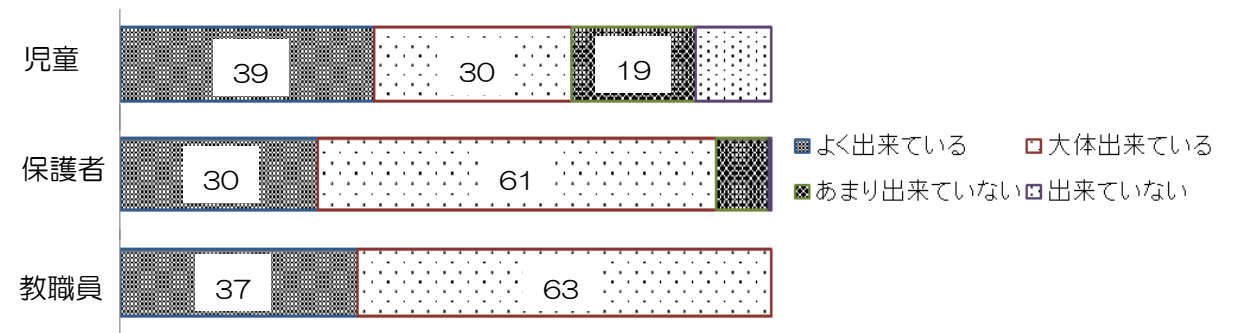
アンケート集計結果（数字は%）

子ども達の生活を よりよいものに 自らを振り返り、互いに高め合う			よくできている			だいたいできている			あまりできていない			できていない		
			児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
生活面	1	進んで挨拶をする	57	35	69	33	59	31	9	5	0	1	1	0
	2	先生に相談する	48	40	71	42	50	29	7	9	0	3	1	0
	3	自分のよいところが言える	38	33	18	37	58	73	20	8	9	5	1	0
	4	友達を大切にし、仲良くする	39	30	37	30	61	63	19	8	0	12	1	0
	5	忘れ物がない	74	41	38	22	57	37	2	2	25	2	0	0
	6	係や当番の仕事を最後までする	41	62	22	47	15	33	11	1	45	1	22	0
	7	後片付けできる	73	37	33	23	46	56	3	4	11	1	13	0
学習面	8	授業がよくわかる	63	18	33	30	50	45	6	30	22	1	2	0
	9	話を最後まできく	60	27	20	32	59	60	6	13	20	2	1	0
	10	進んで発表する	58	27	40	37	63	40	3	9	20	2	1	0
	11	家庭学習を進んでする	47	41	11	28	40	56	20	4	33	8	15	0
	12	本をよく読む	58	31	11	29	56	67	11	11	22	2	2	0
	13	花園小の地域が好き	50	21	0	29	32	62	15	42	38	6	5	0

4 友達を大切にし、仲良くしている（児童）

わが家では、わが子が友達を大切にし、仲良くするように働きかけている（保護者）

児童が友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる（教職員）

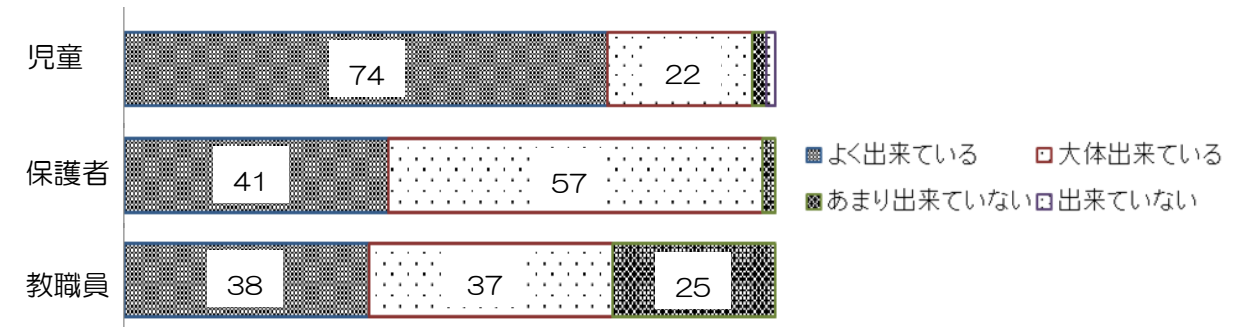


目指す子ども像「相手とよりよく関わり、主体的に学び合う子」に関連する項目です。昨年度はほぼ100%の児童がおおむね友達を大切にし、仲良くしていると答えていました。今回は、児童の19%があまりできていないと答えています。保護者、教職員は同じような傾向となっています。子ども達がおたがいを大切にし合える学級づくりがまだまだ十分ではないのかもしれませんが、これからも、保護者の皆様と協力しながら、一人一人の子ども達が輝く場であり、一人一人の子ども達が大切にされる場である学級・学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。

5 忘れ物なく、学習の準備ができている（児童）

わが子が忘れ物なく、学習準備する習慣が定着するようはたらきかけている（保護者）

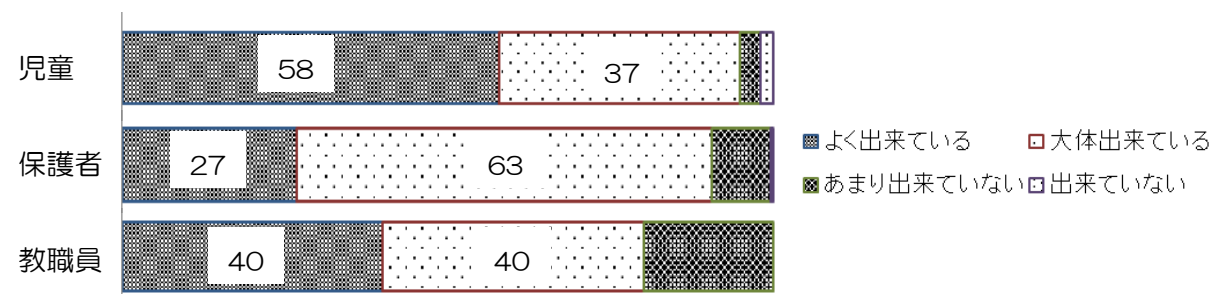
児童に忘れ物なく学習準備する習慣が定着するようはたらきかけている（教職員）



学校教育目標の「自ら学び 自ら律する」に関連する項目です。児童のおよそ95%ができていると答えています。昨年度後期の結果は85%で、特に「よくできている」と答えた児童は前年度後期の36%から74%と大きく高まっています。子ども達の意識の高まりや保護者の皆様の継続したはたらきかけがあつてこそその結果だと考えます。教職員の25%まだ十分ではないと感じていますので、引き続き自ら学習準備をして学びに向かう子どもの育成に向けて取り組んでいきたいと考えています。これからも保護者の皆様のご協力をお願いします。

10 授業中、自分から進んで発表している（児童）

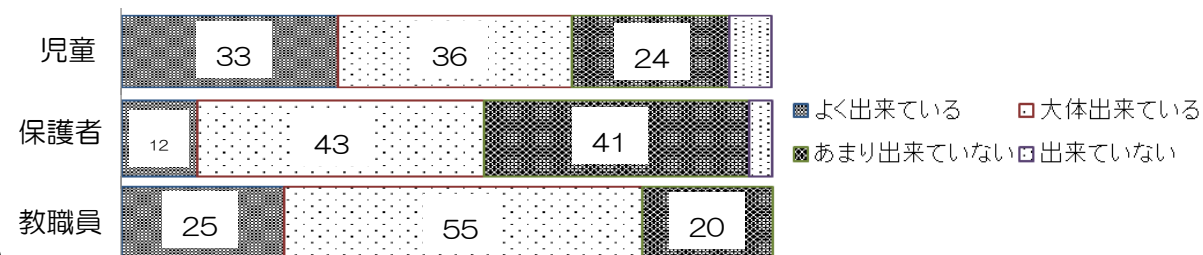
わが子に授業中、進んで発表するよう励ましている（保護者）
児童が授業中、進んで発表するよう働きかけている（教職員）



8の項目では、児童の95%が授業が（よく）わかると答えています。これは、昨年度と同じような結果でした。しかし昨年度は、子ども達が授業の中で自分の考えや思いを進んで表現することが十分ではないことが、10の項目から読み取ることができました。今回は、およそ95%の児童が進んで発表していると答えています。「よくできている」は昨年度後期と比較して33%から58%へと変わりました。保護者の皆様によるはたらきかけも、「よくできている」が12%から27%、「できている」を合わせると55%から90%とかなり大きく変わりました。

これらの結果は、こちらも子ども達のがんばりはもちろんのこと、保護者の皆様の支援あつての結果だと考えられます。

～10の項目 令和2年度 後期学校評価アンケートより（参考）～

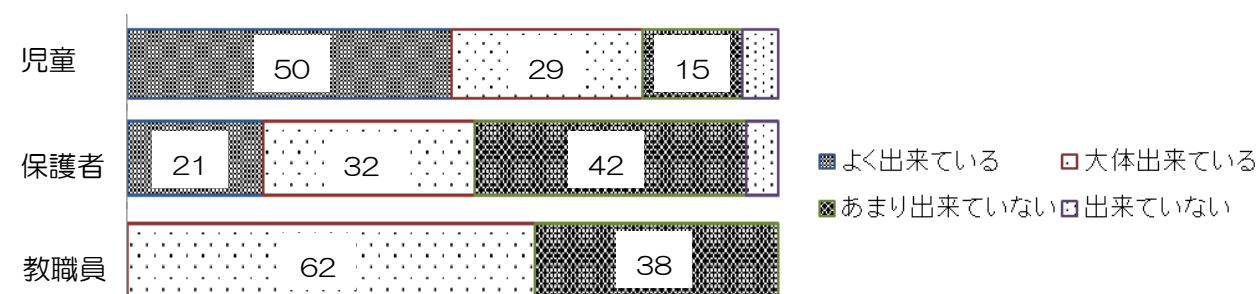


自分の考えを表現することは、学習のみならず生活の中で大切な力につながります。教職員は子ども達が進んで発表するような働きかけを今後もすすめてまいりますので、保護者の皆様からも子ども達に自分の考えや思いを進んで表現するよう引き続き励ましてください。また、自分の思いを安心して出すことができる学級・学校づくりを教職員一同築いていきたいと考えておりますので、どうぞご協力をお願いします。



13 花園小の地域のことが好きである（児童）

家庭で花園小地域のよいところを話したり、ふれあったりする機会をもっている（保護者）
花園小の地域のよさを学べるような教材・単元づくりをしている（教職員）



「花園小の地域が好き」には、およそ80%の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えていました。花園小の多くの子ども達は、地域のことを好きだと感じています。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実際に児童が地域に出て学びを深めたり、地域の方々にお話しをお聞きしたりする機会をもつことができない中で学習を進めざるを得なくなっています。学校では生活科や総合的な学習の時間などを通して、地域のよさや人々の思いに触れ、地域を愛し、地域とのつながりを深め、地域に対する誇りをもってほしいと願っています。今後も感染拡大防止の取組をしながら、くふうして学びをすすめていきたいと思っています。

保護者の皆様にはその他にご意見等を頂戴しました。特に新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる取組について多くのご意見を頂きました。ありがとうございました。今後の児童の指導へいかしていきたいと考えています。

学校全体の様子はもちろん、各学年の取組や活動の様子についてホームページ等を活用して今後できるだけ皆様にお伝えできるよう努めてまいります。ご覧ください。

京都市立花園小学校



学校評価アンケート集計結果から

学校評価アンケートは、それぞれのお立場での自己評価を通して振り返ることで、それぞれすることが明確になり、子ども達の変容へとつながっていきます。今回のアンケートでは、質問によっては、学校教育目標の具現化に向けてまだまだ十分ではないものも見られました。

これからも家庭・地域との連携を大切にしながら一人一人の子どもを大切に取る取組をすすめていきたいと考えています。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

皆様から頂いた学校評価アンケートをもとに、これからの学校運営に活かしていきます。そして、保護者・地域の皆様とのさらなる連携を深めて取り組んでいきたいと考えております。今回はアンケートへのご協力ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。